

よっくんとの出逢い ～遊びのボランティア～

脇坂盛雄

内容：

1. ボランティアを始めたきっかけ
2. 遊びのボランティア通してよっくんとの出逢い
3. 病氣と闘う子どもたち
4. ログセラピーの考えにボランティアの活動を照らし合わせての気づき
5. 子どもたちが蒔いた種をもらって

1. ボランティアを始めたきっかけ

1) 生きる上で考えるきっかけになった出来事

① 友だちができない

大学に入って同じ化学科の友だちがなかなかできませんでした。それが自分の性格を見つめるきっかけになり、本を読んだり、コミュニケーション能力を高めるために合同ハイキングに積極的に参加しました。

② オイルショックで就職難

化学科なのでオイルショックをもろに受けました。厳しかったです。

③ 胃がんで胃を2/3 切除

38歳の健康診断で胃がんが見つかりました。入院1か月、自宅療養1か月後に会社に復帰しました。社長から「何か考えが変わったことはあるか？」と尋ねられました。

「時間は有限で、やりたいことが将来できるとは限らない、今やらないとできない」との思いが強くなりました。それと「周りの目よりも自分のやりたいことをやりたい」との思いが強くなりました。

2) ボランティアのきっかけから遊びのボランティアまで

留学時代に米国の病院ボランティアディレクターにお話を伺いに行きました。

「病院には、メディカルスクールに行きたい学生がボランティアに来ているが、